

北陸農政局男女共同参画フォーラムの概要

1 開催日時

平成23年11月29日（火）

13:30～15:30

2 開催場所

北陸農政局 広坂合同庁舎 1階 大会議室

3 主 催

北陸農政局

4 フォーラムの内容

農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現に向け、男女が共同していきいきと活躍し優良な取組を行っている者に対する表彰を実施し、北陸地域での男女共同参画の一層の推進を図るため、フォーラムを開催し、女性農業者など約45名の参加がありました。

また、表彰式後、あぐりママしましよ代表鈴木雅子氏の基調講演及び意見交換会を行いました。



(1) 男女共同参画優良事例表彰式

受賞者（北陸農政局長賞：5名）

部 門	個 人 名
経営参画部門	近藤 久子 氏（新潟県新潟市）
経営参画部門	原 やす子 氏（富山県富山市）
経営参画部門	石丸 勢津子 氏（福井県三方郡美浜町）
社会参画部門	新木 順子 氏（石川県輪島市）
社会参画部門	窪田 春美 氏（福井県南条郡南越前町）

(2) 基調講演

テーマ「夫婦二人三脚で築いたネットワーク」

あぐりママしましよ代表 鈴木 雅子 氏

（茨城県）

鈴木氏から、農家に嫁いでから夫婦で歩んできた道のり、夫婦で模索した農業経営、新たな農業の展開について講演を頂きました。



(3) 意見交換会

男女共同参画優良表彰受賞者の皆様及び鈴木氏と意見交換会を行いました。

受賞者それぞれから、取組に関する心構えや、ノウハウ、秘訣などを発表していただきました。



平成23年度 北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式 於 金沢広坂合同庁舎 平成23年11月29日

左から、窪田春美氏、新木順子氏、石丸勢津子氏、高嶺局長、原やす子氏、近藤久子氏

受賞者の活動事例紹介

経営参画部門（個人）

^{こんどう} ^{ひさこ}
近藤 久子 氏（新潟県新潟市）

知人の女性農業者が夫を亡くし、何の経済的保証もなく家を出たことを知り、女性農業者の主体性や経営参画の必要性を感じ、農業委員会主催の簿記教室に参加し、それを機に、所得確保のため施設園芸を導入し複合営農を本格的に開始した。その後、新潟地域農業共済女性の会、初代会長に就任するとともに、新潟県農村地域生活アドバイザーに認定された。現在、自家農産物の直売所「近藤菜園」を開設し自ら店に立ち、女性の感性を生かした店作りと生産者の顔が見える販売を実践している。また、家族経営協定を締結し方針決定や役割分担を明文化した。一方、自家直売所運営のノウハウを生かし、女性の仲間とともに大型スーパーに販路を開拓し出荷グループのまとめ役として活躍している。さらに、農産物等の情報提供、イベントの企画・運営等に積極的に関わり、出荷先直売所の運営に大きく貢献する等、地域の活性化や男女共同参画の啓発推進に大きく貢献している。

^{はら} ^こ
原 やす子 氏（富山県富山市）

兼業農家であったが、近隣からの農地の委託希望者の増加をきっかけに、平成10年に就農し夫婦で家族経営協定を締結した。翌年「どうせやるなら楽しい農業を」という思いから、夫婦で産業用無人ヘリによる水稻等の病虫害防除や肥料散布などの作業受託を開始し、新しい農業のスタイルを確立した。

その後も、直播により余裕の生じた水稻用の育苗ハウスを活用し、栄養価の高い野菜「プチヴェール」の栽培の他、自家野菜の「乾燥商品」化にチャレンジし、専門家の助言も得て「原さんちの乾燥野菜」として地元ショッピングセンター等の販売につなげた。また、認定農業者の共同申請を行い、家族経営から夫とともに（株）原農園を設立し取締役就任している。さらに、婦中町女性農業士会長を務める等、地域の活性化や男女共同参画の啓発推進に大きく貢献している。

^{いしまる} ^{せつこ}
石丸 勢津子 氏（福井県三方郡美浜町）

地元JAの親睦グループで取り組んだケーキ作りを通し「酪農だけで終わるのではなく、自分が搾った新鮮牛乳を使った加工品を作りたい」という夢を持ち、調理師免許を取得した。その後、自宅前に「せっちゃん家のケーキ屋さん」をオープンしチーズケーキの注文販売を開始した。口コミで販売が順調に伸びる中、顧客からの要望や将来への商品ラインアップを考え、新商品を開発した。一方、美浜町役場と連携し小中学生を対象に農業体験の受入れを開始するとともに、都市と農村との交流を推進し地域活性化に取り組んでいる。このような活動が評価され、県観光連盟より優良観光土産品として推奨された。また、地域社会においても、農業委員、担い手農家の女性グループの先導者として、家族経営協定の締結、認定農業者の共同申請等の推進に実績をあげている。このように、県内女性農業者の経営参画を推進するリーダーとして活躍する等、男女共同参画の推進に大きく貢献している。

社会参画部門（個人）

しんき じゆんこ
新木 順子 氏（石川県輪島市）

平成18年11月に石川県漁協女性部の初代部長に就任し、女性部活動の活性化に努めている。平成21年に水産加工グループ「輪島・海美味工房」を立ち上げ、魚介類の加工販売を中心に地元水産物の消費拡大に向けた活動を積極的に展開している。また、県の各種審議会でも漁村女性の立場から積極的に発言するなど漁協女性部員のさらなる社会参画に向けた牽引役となっている。現在は石川県漁協女性部長、女性部輪島崎支部長、女性指導漁業士として海岸清掃・植樹活動、天然石けんの普及といった環境保全活動や未利用資源の有効活用・料理教室等、魚食普及活動等を通し漁村地域の振興と浜の女性の社会参画の促進に貢献している。さらに、平成23年度からは全国漁協女性部連絡協議会理事に就任し、東日本大震災復興支援活動、自立した組織づくりと女性参画の機会づくり等、農山漁村社会における女性参画に積極的な活動を行っており、女性の地位向上と地域の活性化に大きく貢献している。

くぼた はるみ
窪田 春美 氏（福井県南条郡南越前町）

地元JAの親睦グループのリーダーとなり、地元特産のそばの手打ち技術と伝承料理を研究し、「そば道場」のイベント等で提供し好評を得た。特にグループのリーダーとしての活動が評価され、平成8年からJA女性副部長・支部長となり、活動の中心的役割を果たした。一方、女性起業セミナーで学び経営計画を立て、有限会社「グループつくし」を設立し代表となった。イベントで好評だった料理を活かした農家レストラン「土の駅今庄」をオープンした。惣菜や弁当は、隣接の越前市や福井市の農産物直売所やスーパー等12店舗に納入する等、女性起業家としても活躍している。また、平成15年から福井女性会議メンバーとなり、平成20年からは南越前町男女共同参画ネットワーク会長に就任し、町の男女共同参画推進条例制定に尽力した。さらに、同町の男女共同参画審議委員、社会福祉協議会評議員等、町や県の様々な協議会等の委員として、女性の視点で有意義な提案をしており女性の地位向上と地域の活性化に大きく貢献している。